



おいしく
たのしく

すこやかに

Delicious, Fun, and Healthy

森永製菓株式会社

Morinaga & Co., Ltd.

森永製菓グループは、 世代を超えて愛されるすこやかな食を創造し続け、 世界の人々の笑顔を未来につなぎます

森永製菓は1899年に菓子製造業として創業し、120年を超える歴史の中で、たくさんのチャレンジをしてまいりました。

1800年代後半の栄養が満たされた状態ではなく西洋菓子文化もなかった日本に、おいしくて栄養価の高い西洋菓子を提供したいという創業者・森永太郎による社会課題の解決に向けたチャレンジからスタートし、携帯型のミルクキャラメル発売や、日本で初めてのカカオ豆からのチョコレート一貫製造など、様々なチャレンジにより日本の皆様の記憶に残る多種多様な商品を提供し続けてまいりました。この積み重ねによる社会・お客様からの信頼が森永製菓グループの強みの一つです。

森永製菓グループでは2021年度より、長期視点での経営による成長と企業価値向上を目指し、2030年の「ありたい姿」の実現に向けた長期経営計画「2030経営計画」をスタートいたしました。昨今の変化の激しい外部環境の中で私たちはその変化に向き合い、120年の歴史で培った信頼と技術を進化させ、**2030ビジョン『森永製菓グループは、2030年にウェルネスカンパニーへ生まれ変わります。』120年の歴史で培った信頼と技術を進化させ、世界のあらゆる世代のウェルネスライフをサポートしていきます。』**の実現へ、財務・非財務の両面から重要経営課題を統合したサステナブル経営を実践してまいります。

2030経営計画の1stステージである2021中期経営計画では、高い成長性を実現すると共に経営基盤の構築に向けた取り組みを着実に進めてまいりましたが、収益性の観点では課題を残しています。これらを踏まえ、2024中期経営計画ではROICマネジメントの実践を通じた成長性と資本収益性の好循環による「成長軌道の確立」を目指し、2030経営計画達成への道筋を確かなものにしてまいります。

また、2030ビジョン実現のために重要な基本方針として掲げているダイバーシティ&インクルージョンを推進いたします。「一人ひとりの個を活かす」という考えのもと、多様な「個」から知の多様性を生み出し、かけ合わせることで、変化への対応力を高め、イノベーションを創出し、お客様と社会の課題解決に取り組む続けます。

これからも、成長し続ける永続企業（サステナブルカンパニー）として、わたしたちの使命（パーパス）である「森永製菓グループは、世代を超えて愛されるすこやかな食を創造し続け、世界の人々の笑顔を未来につなぎます」を全ての企業活動の拠り所として、こころとからだをすこやかにする食を創造し、誰もが笑顔で過ごせる持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

今後とも、森永製菓グループへの変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 COO

森 信也

森永製菓グループの企業理念



コーポレートメッセージ「おいしく たのしく すこやかに」

森永製菓グループの企業理念は、「使命、目指す未来、大切にしたい」で構成されています。社会に対してどのように貢献していくのかを表明した「わたしたちの使命」、将来に向けてこうありたい、と考える5つの姿を表現した「わたしたちが目指す未来」、そして、創業から100年を超える歴史のなかで育み、これからも揺るぎない信念としていく「わたしたちが大切にしたい」。この企業理念を一言で表したものが、「コーポレートメッセージ」“おいしく、たのしく、すこやかに”です。

わたしたちの使命 (パーパス)

「森永製菓グループは、世代を超えて愛されるすこやかな食を創造し続け、世界の人々の笑顔を未来につなぎます」
森永製菓グループは、今後も成長し続ける持続企業(サステナブルカンパニー)として、こころとからだをすこやかにする食を創造し、誰もが笑顔で過ごせる持続可能な社会の実現に貢献していきます。そして、今日から明日へ、人から人へ、さらに次の世代へ、世界の人々の笑顔を未来につなぎます。

わたしたちが目指す未来 (ビジョン)

森永製菓グループが、将来に向けてこうありたい、と考える5つのビジョンです。
5つのビジョンの頭文字をとって、「GOALS」と表現します。

Good quality

安心や満足をお届けしてきた伝統を守り
誠実な姿勢で高品質を追求し、お客様のすこやかな毎日に貢献していく

Only-one value

多くの日本初を実現してきたパイオニアスピリットを受け継ぎ
新たな価値と感動を創造し、世の中に提供していく

Act globally

様々な試練を克服してきた経験を原動力に
どんな困難にも屈することなく、活動の舞台と可能性を広げていく

Link together

創業以来、人を活力の源泉としてきた企業として
従業員を含めたあらゆるステークホルダーと信頼関係を育んでいく

Sustainable society

エンゼルマークのもと、これからも人々の幸せを見つめながら
持続可能な社会づくりに貢献し、たくさんの笑顔を咲かせていく

わたしたちが大切にしたい (バリュー)

森永製菓グループが100年を超える歴史のなかで、大切に育んできた想いです。他者を思いやり、どのように貢献できるかを考える「利他の精神」を礎にして、「わたしたちが目指す未来」を形作るために、これからも変わることなく5つの想い「お客様第一主義であること」「パイオニアであること」「不撓不屈の精神を持つこと」「人の繋がりを大切にすること」「企業と社会の課題を一致させること」を大切にしていきます。

森永製菓グループは、この企業理念を全ての活動の拠り所として、ステークホルダーの皆様と社会の期待に応えることで持続可能な社会の実現に貢献し、長期的な企業価値向上を図ってまいります。

森永製菓グループは「2030 ビジョン」の実現に向けて、 これらの事業に注力してまいります

in 事業

「in」ブランドでは、「inゼリー」「inバー」を中心に、スポーツシーンや朝などの時間のない時にいつでも手軽に栄養を補給できるという新しい食文化を創造し、これまでにないライフスタイルを提供してきました。健康意識の高まりを背景に、スポーツを軸足とした「心と体の健康」をサポートする食のブランドNo.1を目指します。



通販事業

森永ダイレクトストアでは、健康意識の高まりやネット通販利用の拡大を背景に、お客様一人ひとりとダイレクトにつながり、すこやかな毎日をお手伝いしたいと考えています。「おいしいコラーゲンドリンク」や「おいしい青汁」など、食を通じて健康・美容をサポートできる商品とサービスをお届けします。



米国事業

米国事業では、「HI-CHEW(ハイチュウ)」がリアルなフルーツ感と他社にはない弾力のある食感で米国のお客様に受け入れられ、発売以来伸長を続けています。今後も販売網の拡充に注力するとともに、ウェルネス価値を提供する新商品の開発や米国でのゼリー飲料市場の創造に取り組んでまいります。



冷菓事業

冷菓事業は、業界トップクラス商品であり、鮮度マーケティングを追求する「チョコモナカジャンボ」、独自の技術
をベースとした「アイスボックス」など、独創性のある商品をはじめ、菓子食品技術の強みを生かした商品を展開
しています。バラエティ豊かなラインアップで季節を問わずお客様に愛される商品を提供しています。



国内菓子食品事業 他

事業活動の基盤を担う国内菓子食品事業は、「ハイチュウ」「ダース」「森永ビスケット」「森永ココア」「森永甘酒」
など、主力のロングセラーブランドを軸に、常に新たなおいしさと食シーンを創造しています。同時に、おいしさと
健康機能を兼ね備えた高カカオチョコレートや栄養や美容面での研究も進む「甘酒」など、「健康」の切り口を
取り入れた商品開発にも取り組み、変化するライフスタイルに応じた商品づくりと情報発信を行なっています。

海外事業は、米国の他にも中国・台湾に販売拠点と製造拠点、タイに販売拠点を構築し、「HI-CHEW
(ハイチュウ)」を中心に新たな市場の獲得と販売網の拡充に取り組み、海外市場での事業拡大を進めています。
世界中のお客様へ「おいしく、たのしく、すこやかに」の企業理念を伝えるべく、商品輸出や技術提携により、
優れた品質と確かなおいしさの日本ブランド「MORINAGA」として各国に進出しています。



おいしさを提供するためにコア技術をさらに磨き上げるとともに、
新しい製法・食感・口溶けを追求するなど、時代に対応し、
よりお客様に喜んでいただける商品開発に挑戦し続けています

「inゼリー」の技術

栄養 × おいしさ × 食感 × 腹もち × 手軽さ。
最新技術でアクティブな毎日を幅広くサポート。



「チョコモナカジャンボ」の技術

パリパリ食感とアイス&チョコの三位一体。
冷凍技術と菓子技術のコンビネーション。



「甘酒」の味づくり・ブレンド技術

厳選された国産の酒粕と米麹を絶妙なバランスでブレンド。酒粕
のkokoro×米麹のやさしい甘みと食感が生み出すこだわりの味わい。



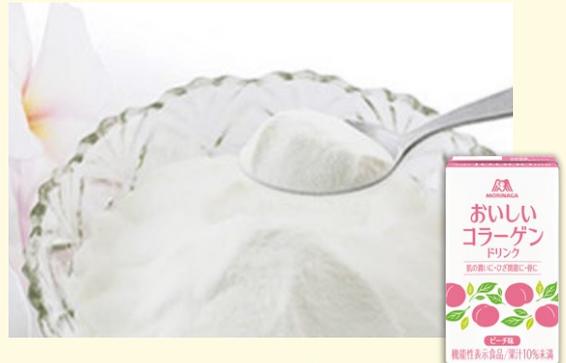
チョコレートの味づくり技術

国産チョコレートのパイオニア、森永製菓。
カカオの味わいと繊細な口どけを実現。



コラーゲンペプチドに関する研究

皮膚や骨などの身体の重要な構成要素、
コラーゲンに関する最新研究。



ソフトキャンディ技術

ミルクキャラメル技術 × 新技術から誕生。世界
へ広がるやわらか食感とジューシーな味わい。



健康機能の研究開発「ココア」

毎日の食卓から医療現場まで広がる、ココアの健康機能
最新研究。



ビスケット・スナック技術

素材のおいしさを最大限に活かして焼き上げる。軽快な食感
からコンビネーションまで幅広く。



森永製菓グループパイオニアの歩み

| | | | | | | | |
|------|-------|--|---|------|-------|---|---|
| 1899 | 明治32年 | 森永太郎がアメリカから帰国し、「森永西洋菓子製造所」創業 |  | 1972 | 昭和47年 | チョコモナカ発売 |  |
| 1905 | 明治38年 | 「おいしくたのしくすこやかに」のシンボル、エンゼルマークを商標登録 | | 1975 | 昭和50年 | ハイチュウ発売 |  |
| 1912 | 大正元年 | 「森永製菓株式会社」となる |  | 1982 | 昭和57年 | おととと発売 |  |
| 1913 | 大正2年 | ミルクキャラメル発売。初めて「ミルクキャラメル」の名称を使用。 |  | 1986 | 昭和61年 | 新エンゼルマーク発表 |  |
| 1918 | 大正7年 | 日本初のカカオ豆からの一貫製造による、国産ミルクチョコレート発売 |  | 1989 | 平成元年 | アイスボックス発売 |  |
| 1919 | 大正8年 | 日本初の飲用ココア、ミルクココア発売 8時間労働制の導入 |  | 1991 | 平成3年 | エンゼル財団設立 | |
| 1920 | 大正9年 | ドライミルク製造開始、翌年発売 |  | 1993 | 平成5年 | ダース発売 |  |
| 1923 | 大正12年 | マリー発売 | | 1994 | 平成6年 | inゼリー発売 |  |
| 1930 | 昭和5年 | 赤ちゃん専用の離乳ビスケット、森永マンナ発売 | | 1999 | 平成11年 | 森永創業100周年を迎える 第1回 リトルエンゼル無人島探検隊実施 | |
| 1937 | 昭和12年 | 第1回「森永母の日大会」を開催 |  | 2000 | 平成12年 | 国内工場でISO14001認証取得完了 | |
| 1944 | 昭和19年 | ペニシリン国産第一号完成 | | 2003 | 平成15年 | 摩利哪呷(上海)食品有限公司を設立 (現 上海森永食品有限公司) カレ・ド・ショコラ発売 バイク発売 |  |
| 1954 | 昭和29年 | 日本初のバンドオープン導入 |  | 2004 | 平成16年 | 中国でハイチュウ製造販売開始 | |
| 1957 | 昭和32年 | ホットケーキの素発売 | | 2007 | 平成19年 | バリーカレボー社と業務提携 | |
| 1959 | 昭和34年 | ウォルトディズニーエンタープライズ社と日本初のライセンス契約締結 | | 2008 | 平成20年 | 米国森永製菓株式会社設立 1チョコ for 1スマイル活動開始 株式会社アントステラ全株取得 | |
| 1960 | 昭和35年 | バレンタインデー企画を展開 日本初の国産インスタントコーヒー発売 教育設備助成会設立と同時にベルマーク運動に参加 | | 2010 | 平成22年 | 森永食品(浙江)有限公司設立 | |
| 1961 | 昭和36年 | 台湾製菓股份有限公司設立 (現 台湾森永製菓股份有限公司) エンゼルパイ発売 |  | 2011 | 平成23年 | 高崎森永株式会社設立 | |
| 1964 | 昭和39年 | ハイクラウンチョコレート発売 |  | 2012 | 平成24年 | 森永食品(浙江)有限公司製造開始 | |
| 1967 | 昭和42年 | チョコボール発売 チョコフレック発売 |  | 2013 | 平成25年 | 独自健康素材パセノール™開発 森永アメリカフーズ株式会社設立 |  |
| 1969 | 昭和44年 | ハイソフト発売 |  | 2015 | 平成27年 | 森永アメリカフーズ株式会社製造開始 | |
| 1970 | 昭和45年 | 大阪万博に参加、空中ビュッフェを運営 | | 2019 | 令和元年 | 森永アジアパシフィック株式会社設立 | |
| 1971 | 昭和46年 | 小枝チョコレート発売 |  | 2020 | 令和2年 | ダイバーシティ推進室発足 持続可能な原材料調達の中期目標発表 | |
| | | | | 2021 | 令和3年 | 新企業理念策定 2030経営計画・2030ビジョン発表 サステナブル経営推進部発足 | |
| | | | | 2022 | 令和4年 | 森永エンゼルミュージアム MORIUM (モリウム) 稼働開始 新研究所「森永製菓R&Dセンター」稼働開始 | |
| | | | | 2024 | 令和6年 | 新社屋「森永芝浦ビル」完成 本社機能を移転 バクテクス(株)の株式譲受 | |

森永製菓株式会社

代表取締役社長 COO：森 信也

本社所在地：〒105-8309 東京都港区芝浦1-13-16

創業：1899(明治32)年8月15日 森永西洋菓子製造所 創業

設立：1910(明治43)年2月23日

資本金：186億12百万円

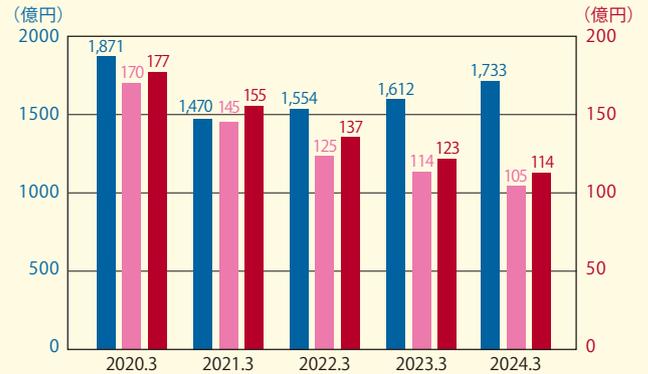
事業内容：菓子(キャラメル・ビスケット・チョコレート等)、
食品(ココア・ケーキミックス等)、冷蔵(アイスクリーム等)、
健康(ゼリー飲料等)の製造、仕入れ及び販売

売上高：1,733億40百万円/2,133億68百万円(連結)

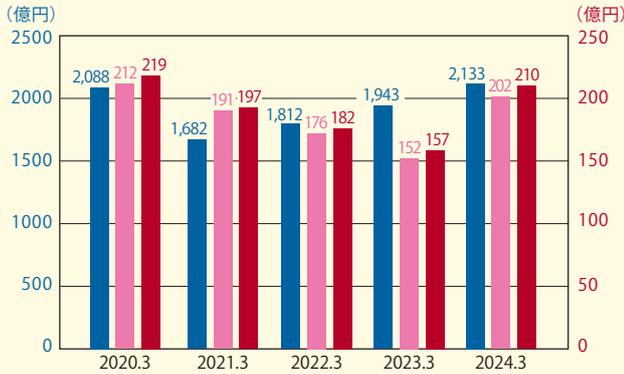
従業員数：1,504名(平均年齢43.5歳)/3,093名(連結)

※2022年3月期の期首より「収益認識による会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2021年3月期については、当該会計基準等を遡及適用した後の数値を記載しております。

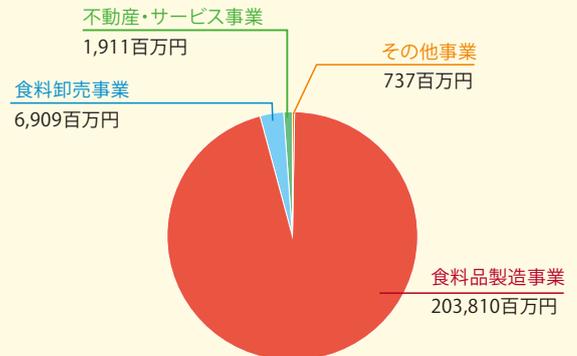
売上高 / 営業利益 / 経常利益



連結 売上高 / 営業利益 / 経常利益



連結 セグメント別売上高



※掲載の数値は2024年6月30日現在のものです

本社・研究所・工場および支店

本社(東京都港区)

研究所(神奈川県横浜市)

鶴見工場(神奈川県横浜市)

小山工場(栃木県小山市)

三島工場(静岡県三島市)

中京工場(愛知県安城市)

北海道支店(北海道札幌市)

東北支店(宮城県仙台市)

関東信越支店(群馬県高崎市)

東京支社(東京都港区)

中部支店(愛知県名古屋市)

関西支店(兵庫県尼崎市)

中四国支店(広島県広島市)

九州支店(福岡県福岡市)



森永製菓グループ



海外

- 台湾森永製菓股份有限公司 (台湾 台北市)
- 上海森永食品有限公司 (中国 上海市)
- 米国森永製菓(株) (米国 カリフォルニア州)
- 森永食品(浙江)有限公司 (中国 浙江省)
- 森永アメリカフーズ(株) (米国 ノースカロライナ州)
- 森永アジアパシフィック(株) (タイ バンコク市)



台湾森永製菓股份有限公司



上海森永食品有限公司



森永食品(浙江)有限公司



米国森永製菓(株)



森永アメリカフーズ(株)



森永アジアパシフィック(株)

国内

食料品製造

- 森永エンゼルデザート(株) (神奈川県大和市)
- 森永デザート(株) (佐賀県鳥栖市)
- (株)アントステラ (東京都港区)
- 高崎森永(株) (群馬県高崎市)
- 森永市場開発(株) (東京都港区)



高崎森永株式会社



森永エンゼルデザート株式会社



森永デザート株式会社



株式会社アントステラ

食料卸売

- 森永商事(株) (神奈川県横浜市)

不動産及びサービス

- 森永高滝カントリー(株) (千葉県市原市)



森永高滝カントリー株式会社

その他

- (株) 森永ファイナンス (東京都港区)
- (株) 森永生科学研究所 (神奈川県横浜市)
- 森永ビジネスパートナー(株) (神奈川県横浜市)
- (株) SEE THE SUN (神奈川県三浦群葉山町) ★
- バクテクス(株) (東京都八王子市) ★

★：持分法適用 非連結子会社